

2005年4月1日入社式社長説示

2005年4月1日

社長の児玉です。よろしくお願いいたします。入社にあたり歓迎の辞を述べたいと思います。厳しい競争を勝ち抜いて今般入社されました皆さん、本当におめでとうございませう。あいおい保険グループの仲間として役職員を代表して心より歓迎いたします。

私も、35年前に皆さんと同じように入社式に臨みましたが、その時の情景が鮮やかに思い起こされます。慣れないスーツに身をつつみ、緊張した雰囲気と社会人としての「夢と希望」に溢れた自分自身の様子が、昨日の事のように蘇ります。皆さんも今日の「緊張感と志」を忘れずに、これからそれぞれの職場で全力で頑張ってください。その頑張りが必ずや皆さんの自己成長につながるものと期待します。

「企業は人なり」と言われますが、とりわけ金融業界の優勝劣敗の分岐点は「人材力」と言っても過言ではありません。私は、会社と自身の仕事に誇りを持ち、常に謙虚さと向上心を忘れない、そういう「人」づくりこそ経営者の最大の責任であると考えています。当社には、皆さんが活躍できる多種多様なフィールドがあります。皆さんの成長を支援する仕組みもあります。「コミュニケーション」と「チームワーク」を基軸に、風通しの良い企業風土もあります。皆さんは、是非「あいおい損保」という会社を最大限活用し、自己の成長を促進し、自身の目指す自己実現にチャレンジし続けてください。その事が当社の発展につながるものと確信しております。会社も、皆さん一人一人の成長を、全力でバックアップします。

その第一弾として、当社は、社員一人ひとりの成長支援を目的に、社員個々の「専門能力習得」「ライフプランの形成」を重視した新人材育成体系として「IOIキャリア開発プログラム」を構築し、今年度よりスタートさせます。まずは、総合職グループを手始めに順次対象を拡大いたします。

本プログラムは「社員の自律支援」をキーワードに、入社後の経過年数に応じて基本能力を習得する時期、専門能力を向上させる時期、専門能力を発揮する時期等のステージを設定し、各ステージごとに社員に求める能力を明示するとともに、その能力習得に向けた会社支援策を示したものであります。即ち、「社員の自律的成長」を支援するプログラムと言えます。

入社後3年間の「基本能力習得期」は、損害保険全般に渡る理論と実務の基礎知識を始め、損・生保の商品・業務力、システム活用力等々、幅広い知識・能力習得が求められます。集合研修も実施しますが、OJTと自学・自習が基本となります。保険は、目に見えない無形の商品であり、できるだけわかりやすくお客様に説明する事が必要です。皆さんには、強い目的意識と克己心を持って、自己成長に継続的かつ貪欲に取り組み、一日でも早く「保険のプロ」として胸をはれる社員になっていただきたい。

また、女性社員の登用拡大・活躍の場提供に向け、営業内務・損害サービス担当社員を基軸にした「女性社員育成体系」構築も検討中です。

さて、次に当社及び保険業界の現況について述べてみたいと思います。

昨年度は、集中豪雨、10個の台風上陸、新潟県中越地震、スマトラ沖地震等により、広く社会全般から損保業界に注目が集まりました。その事からも、保険事業が持つ高い社会性と公共性が伺えます。皆さんが働く保険事業は、事業そのものが社会生活に不可欠で、極めて社会貢献度が高い事業と言えます。一方、保険業界内に目をむけますと、自由化・規制緩和の加速、社会経済環境の変革の進展に伴い、これらへのスピード感を持った対応が求められています。また、少子高齢化社会の到来とともに、今後、社会補償制度の枠組みが大きく変わり、医療・介護・年金制度等において、自助努力が求められる時代となりました。このような環境下、当社は、独自のビジネスモデルによる抜本的な生産性向上、本業強化による専門性発揮、機能別アライアンス推進、マーケットセグメントに基づく商品・サービス・チャネル戦略の構築、収益源の多様化に向けた事業領域の拡大等の諸施策を着実かつ迅速に推し進める事で保険業界のみならず、業態を超えた競争を勝ち抜く決意であります。また、新時代のニーズとして、コンプライアンスはもちろんのこと、環境問題への配慮や社会貢献活動・ES（従業員満足度の向上）など企業の社会的責任を強く求めるCSR活動への取り組み強化が求められています。保険事業の特性を考える時、保険事業にとってCSRの精神は、永年にわたって脈々と受け継がれてきた基本理念そのものだとも言えます。当社も、今後CSRを基軸とした経営を進めていきます。

今年、当社として初めての日本損害保険協会会長会社となりますが、私としては、協会長として損保業界の発展に努めるとともに、こうした事業環境の変化をチャンスと捉え、必ず勝ち抜く意志と行動で積極果敢に挑戦し続けることで、当社の将来を切り開く覚悟であります。

当社は、いつでもどこでもお客様にとって一番身近な会社をめざし、お客様やマーケットから信頼され、選ばれる会社になるべく、日々努力しております。

今、当社はその実現に向けた具体的課題として5つの強化課題、3つの挑戦課題を挙げています。

・強化課題として国内損保事業における増収基盤の確立、具体的には

増収力の確立

構造革新による生産性・効率性の向上

収益力の強化

人事革新・組織活性化とCSR経営の推進

・活気に溢れ革新し続ける企業風土の醸成

「コミュニケーション」と「チームワーク」を基軸に、代理店とのパートナーシップ強化
社員能力・士気向上、人材革新・組織活性化をめざします。

・さらには、品質最優の企業基盤の構築

財務基盤の強化と資本効率の向上を図るとともに、CSR経営の推進により企業市民としての責任を果たし、信頼性の高い企業基盤構築をめざします

トヨタグループとの連携強化

国内損保事業はもとより、あらゆる分野でトヨタグループとの連携を強化し、徹底的な経営資源の相互活用ノウハウの吸収を図るものです

- ・挑戦課題として、収益源の多様化に向けた事業領域の拡大

海外事業

生保事業

金融サービス事業

等、成長分野に積極的に経営資源をシフトし、新たな収益源としての確立をめざします。

次にこれらの課題達成に向け、私は、全役職員に次の活動指針をもって日常業務に取り組む事をお願いしております。皆さんにも是非お願いしたい。

- ・革新する強い意志と行動

失敗を恐れず、逃げずに正面から挑戦し続ける「意志」を持つ

着実に前進するために、まず第一歩を踏み出す「行動」を起こす

- ・攻撃は最大の防御

全員で徹底して攻める、決して受け身に回らない、守りは負けに繋がる

- ・コミュニケーションとチームワーク

全員が目標・課題を共有し、一丸となって挑戦する組織を構築する

対話を通じて信頼関係を構築し、明るく活気溢れる職場づくりを進める

常に低い目線と高い目標を持ち続ける

以上であります。

さて、皆さんはあいおい損保の社員として入社された第5期生です。今回、女性社員も含め、これだけ大勢の新入社員を迎える事を、社長として大変嬉しく思います。当社も、創業時の混乱を乗り越え、いよいよ会社基盤が確立されつつあるとの思いを強くしております。

私は、入社以来「初心忘るべからず」という言葉を大切にしてきました。学びはじめた志を忘れてはいけない、謙虚な気持ちと態度を失ってはいけないという意味ですが、節目節目の苦しい時にはいつも心の中でこの言葉を繰り返し、原点に戻ってチャレンジを行って参りました。

今日からのあいおいでの会社生活の中で、困難な時、迷った時には覚えていたら思い出して下さい。

いずれにしましても、私も社長として率先垂範で「本気と、勇気と、元気と」をもって全力で頑張ります。皆さんも、共に頑張ってください。

最後に、皆さんの健康と活躍を心より祈念・期待し、挨拶といたします。

以上